添付書類2

関係法規・制度

【総合】　　【ﾜｰｷﾝｸﾞ】

1

科目名	関係法規・制度	必修課目(国家試験課目)			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		15	15
		2年次		15	15
使用教科書	関係法規・制度(公益社団法人 日本理容美容教育センター)				
副教材等	ワークブック(使用教科書準拠),国家試験出題問題等(学校独自印刷物)				
担当者	倉橋浩志(仙台ヘアメイク専門学校事務長,高等学校教諭二級普通免許(社会・商業)				

2 目標および内容

目標	1　美容師の業務に関係する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識の習得の必要性を理解するとともに、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について自覚する。 2　美容の業務に関する規定内容を正確に理解するとともに、衛生法規が、美容業を行う場合の指針として有する意義を把握する。	
内容	1 衛生行政	⑴　社会生活の中で法律、政治、行政の役割、機能など衛生法規を学ぶために必要な基礎的事項について理解する。
		⑵　日本の行政の仕組み、国と地方の行政との関係などについて理解する。
		⑶　衛生行政の目標、種類、意義について理解する。
		⑷　衛生行政を行う行政機関と、特に美容業と関係の深い保健所について、その任務や活動及び組織を理解させる。
	2 美容師法	⑴　美容師法の沿革・目的・意義を理解する。
		⑵　美容に関する用語の定義を理解する。
		⑶　美容師の意義・免許・手続き・欠格要件・登録等について理解する。
		⑷　美容師試験について、意義・内容・受験手続を理解する。
		⑸　美容師養成施設について、課程・教科課目等を理解する。
		⑹　美容師の業務上の遵守事項、業務を行う場所、講ずべき衛生措置について意義と内容を理解し、公衆衛生を担う職責を自覚する。
		⑺　美容所の開設・検査確認・衛生措置等に関する規則を理解する。
		⑻　美容師の免許取消・業務停止・再免許について理解する。
		⑼　管理美容師の業務について、その内容を理解する。
		⑽　美容所の閉鎖命令、美容師法の罰則について理解する。
	3 関連法規	⑴　生活衛生関係営業の適正化及び振興に関する法律、消費者保護関連法規
		⑵　地域保健法、感染症法、労働基準法、日本政策金融公庫法、廃棄物処理法等
		⑶　美容師法と理容師法の違いについて理解する。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

衛生管理

【総合】　　【ﾜｰｷﾝｸﾞ】

1

科目名	衛生管理	必修課目(国家試験課目)			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	15	15	30
		2年次	30	30	60
使用する教科書		公益財団法人　日本理容美容教育センター発行 「衛生管理」			
副教材等					
担当者	主:國吉琢磨、 副:高橋定美,阿部正典				
	全員美容師免許,美容所勤務４～９年以上,厚生労働省「衛生管理」認定講習修了				

2 目標および内容

目標	ア. 公衆衛生の意義と本質を理解した上で、美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由について十分に理解する。環境衛生の意義と目的を美容師の業務と関連付けて具体的に理解する。	
	イ. 美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との関連の重要性について理解する。特に美容器具などの消毒法は、衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので十分に理解し、適正な実施方法を身に付ける。	
内容	公衆衛生概説	① 公衆衛生の意義について理解し、日常生活と美容業との結びつき、発展向上のために美容師としてなすべきことを理解する。
		② 公衆衛生発展の歴史を概観し、その思想がどのように発展してきたかを理解する。
		③ 公衆衛生は、対人的な予防医学と対物的な環境衛生とに大別されることを理解し、環境衛生が健康で文化的な生活の基盤をなすものであることを理解する。
		④ 保健所の機能、組織、業務などについて理解し、保健所が地域の保健衛生行政において中核的存在であり、美容業と密接な関係があることを理解する。
	感染症	① 美容の業務を行う上で、どのような感染症に注意すべきかを具体的に理解し、予防対策について系統的に理解する。
		② 美容所の衛生措置、特に消毒の意義について、感染症対策と関連付けて理解する。
	環境衛生	① 環境衛生の意義と内容を理解し、美容所において特に注意する点について理解する。
		② 美容所における環境衛生、特に採光･照明･換気･床等の構造設備、衣服の衛生について理解する。
		③ 美容所における廃棄物処理、環境保全対策について理解する。
	衛生管理技術	① 美容所における衛生管理、特に消毒の意義と目的について理解する。
		② 消毒方法の種類、原理、特徴について具体的に理解する。
		③ 美容器具等の対象物の材質、構造等に応じた適切な消毒方法の選択と適正な実施方法について学ぶ。
		④ 美容所において用いられる代表的な消毒方法について、正しい操作方法及び注意事項を確実に身に付ける。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、 定期考査にて評価する。
	イ、 授業内容の理解度を確認するため、 単元ごとの小テストを行う。

保健

【総合】　　【ﾜｰｷﾝｸﾞ】

1

課目名	保健	必修課目(国家試験課目)			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	30		30
		2年次	30	30	60
使用する教科書		公益財団法人　日本理容美容教育センター発行 「保健」			
副教材等		医学書院発行 「目でみるからだのメカニズム」			
担当者	主：髙橋利之,副：吉田温子				
	両名とも、美容師免許,美容所勤務３年以上,厚生労働省「保健」認定講習修了				

2 目標および内容

目標	ア. 美容の基礎となる人体について、特に皮膚･毛髪等の皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識を習得する。	
	イ. 美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解する。	
内容	人体の構造及び機能	① 人体各部の名称並びに頭部、顔部及び頸部の解剖学的特徴について理解する。
		② 美容の施術の際に使う骨格及び筋について種類、構造、及び機能について理解する。
		③ 人体(頭部、顔部、頸部に限る)の骨格、筋の種類、構造、機能について理解する。
		④ 人体(頭部、顔部、頸部に限る)の神経機能の仕組みについて理解する。
	皮膚及び皮膚付属器官の構造及び機能	① 皮膚、皮膚付属器官(毛髪、爪、脂腺、汗腺等)の構造について理解する。
		② 皮膚の生理的作用について理解し、これらの作用と美容との関係について学ぶ。
		③ 毛髪、爪の生理的意義と特性について、美容技術との関連を含めて理解する。
	皮膚及び皮膚付属器官の保健衛生	① 皮膚、皮膚付属器官の状態に影響を与える因子にはどのようなものがあるか理解する。
		② 皮膚、皮膚付属器官を健康に保つための方法について学び、美容の施術を安全かつ効果的に行うために注意すべき事項について学習する。特に毛髪の保健衛生については、美容技術の基礎であることから、重点をおいて学ぶ。
	皮膚及び皮膚付属器官の疾患	① 皮膚、皮膚付属器官の疾患の種類、原因、症状について、美容の施術と関連付けながら理解する。
		② 美容で使用する香粧品等によるかぶれ･アレルギーについて、その発生機序と予防法との概略を学び、美容の業務において注意すべき点は何かを理解する。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

香粧品化学

【総合】　　【ﾜｰｷﾝｸﾞ】

1

課目名	香粧品化学	必修課目(国家試験課目)			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		２年次	30	30	60
使用する教科書		公益財団法人　日本理容美容教育センター発行　「香粧品化学」			
副教材等					
担当者	菊地亜美				
担当者	美容師免許,美容所勤務３年以上,厚生労働省「香粧品化学」認定講習修了				

2 目標および内容

目標		ア．香粧品は美容技術において欠くことのできないものである反面、使用方法を誤れば重大な健康被害を起こす恐れがあることから、科学的な性質を理解するとともに、正しく使用するための正確な知識と適正な技術を身に付ける重要性を認識する。
		イ．美容業務を安全かつ効果的に行うために、香粧品の正確な科学的知識と合理的な取扱方法を習熟し、香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。
内容	香粧品の化学	①　物質の相変化、溶液、酸アルカリ、酸化還元反応等化学の基本原理について、美容技術の実例に即して理解する。
		②　化学薬品の取扱い、溶液の調整法等化学の基本操作を身に付ける。
		③　石けん、洗剤、化粧水、ヘアシャンプー、ヘアリンス、整髪料、養毛剤、染毛剤パーマ液等美容において使用される主な香粧品の種類、使用目的、成分、作用原理

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

文化論

【総合】　【ﾜｰｷﾝｸﾞ】

1

科目名	文化論	必修課目(国家試験課目)			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	30		30
		2年次		30	30
使用する教科書		公益財団法人　日本理容美容教育センター発行　「文化論」			
副教材等					
担当者	主：佐藤知美　高等学校教諭一種免許(美術)				
	副：髙橋利之　美容師免許,美容所勤務３年以上,厚生労働省「文化論」認定講習修了				

2 目標および内容

目標	ア、美容業の使命の一つが、より優れた人間美の創造、実現にあることをよく認識し、これの達成のために必要な美的感覚を身に付け、洗練し芸術的な表現力と鑑賞力を養う。	
	イ、美容の業務を全うするために、確かな技術力を身に付け、豊かな感性に裏付けされた優れた表現力を養う。	
内容	美容文化史	①　美容文化の歴史及び沿革について学ぶ。
		②　我が国における美容ファッションの変遷について学ぶ。
		③　海外における美容ファッションの変遷について学ぶ。
		④　流行を追う心理、流行が社会に及ぼす影響、流行が美容業において占める意義と役割について学ぶ。
	服飾	①　服飾の原理、美容における服飾の意義などについて理解する。
		②　服飾の歴史のあらまし、衣類の種類、衣服に関するエチケットなどについて学ぶ。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

美容技術理論

【総合】　【ﾜｰｷﾝｸﾞ】

1

科目名	美容技術理論	必修課目(国家試験課目)			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		１年次	30	30	60
		２年次	30	60	90
使用する教科書		美容技術理論Ⅰ・Ⅱ			
副教材等					
担当者	主：佐藤(由),阿部(宏),高橋(定),川﨑,佐々,國吉,菊地、 副：髙橋(利),相ノ山,阿部(正),吉田				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	ア、美容技術に関する知識を衛生的･能率的に実践する態度･習慣を養い、工夫と創造の能力を身につける。	
	イ、美容の業務を安全かつ効率的に行うため、美容器具の正確な科学知識と合理的思考に裏付けされた正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して学び習熟する。あわせて、美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。	
	ウ、優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを理解する。	
内容	美容で使用する器具	① 美容で使用する主な機械器具について物理の基本事項を学ぶとともに、人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解する。
		② コーム、ヘアブラシ、はさみ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的、形態と機能、選定方法、基本的操作方法、手入れ方法等を学ぶ。また、刃物、はさみの材料として使用される金属の特性についても学ぶ。
		③ ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、ブラシ、被布及び布片類について、その種類、使用目的、形態と機能、手入れ方法等を学ぶ。
		④ 美容に用いられるその他の電気器具類、備品類、容器類等について、その種類、各部の名称、使用目的、形態と機能、選定方法、基本的操作方法、使用上の注意、手入れ方法等を学ぶ。
	基礎技術	① 美容技術の意義と技術を行う場合の心得を学ぶ。
		② 美容技術に必要な人体各部の名称を学ぶ。
		③ 美容技術を行う場合の技術者の位置と姿勢、身体の機能その他美容技術を行う場合に考慮しなければならない基礎知識を学ぶ。
	頭部、顔部及び頸部技術	① スキャルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー、ヘアリンス技術、ヘアカッティング、パーマネントウェービング、ヘアセッティング、ヘアカラーリング等の基本的な頭部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意等について学ぶ。
		② メイクアップ、まつ毛エクステンション、その他基本的な顔部及び頸部技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点について学ぶ。
	特殊技術	ｴｽﾃﾃｨｯｸ･ﾈｲﾙ技術等の美容の特殊技術の目的、種類、特徴、技術上の注意点等を学ぶ。
	和装技術	① 日本髪の基礎知識、技術の実際について学ぶ。
		② かつらの種類、あわせ方、かぶせ方について学ぶ。
		③ 和装に関する一般知識、着付技術について学ぶ。
	美容デザイン	① 美容におけるヘアデザインの造形の意義とその応用等について学ぶ。
		② 色彩の原理と美容における応用等について学ぶ。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

運営管理

【総合】　【ﾜｰｷﾝｸﾞ】

1

科目名	運営管理	必修課目(国家試験課目)			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		15	15
		2年次		15	15
使用する教科書		運営管理(公益社団法人 日本理容美容教育センター)			
副教材等					
担当者	倉橋浩志(仙台ヘアメイク専門学校事務長,高等学校教諭二級普通免許(社会・商業)				

2 目標および内容

目標	1 経営管理及び労務管理の基本的事項を学習し、美容業における運営管理手法の重要性を認識し、美容所の運営に役立たせる。	
	2 美容業において、適切な接客態度の重要性を自覚し、消費者対応の基本を学び、実践する能力を身につける。	
内容	1 経営管理	⑴ 経営戦略、経営管理の基本理論を美容業の実例を交えて理解する。
		⑵ 美容所運営に必要な経理事務に関する基本事項を学ぶ。
	2 労務管理	⑴ 労務管理の基本理論を美容業の実例を交えて理解する。
		⑵ 従業者の社会保険、雇用保険に関する仕組みを学ぶ。
	3 接客	⑴ 社会人としての一般常識を理解し、美容業における接客の意義と技術について具体的事例を学び、習得する。
		⑵ 苦情処理等消費者対応の基本的事項について、美容業における実例を交えて学ぶ。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

美容実習　総合コース

【総合】

1

科目名	美容実習	必修課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	255	180	435
		2年次	180	485	465
使用する教科書		オリジナルテキスト			
副教材等		各メーカー製品マニュアル及びその製品			
担当者	主：佐藤(由),阿部(宏),佐々,國吉,川﨑,菊地、副：,高橋(定),髙橋(利),相ノ山,阿部(正),吉田				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	ア、美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付ける	
	とともにこれらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を習得する。	
	イ、美容所における衛生管理の重要性を認識し、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付ける。	
	ウ、個々の顧客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付ける。	
内容	器具の取り扱い実習	①　美容器具の操作方法、消毒方法、手入れ方法を確実に習得する。
		②　用途に適した美容器具の選択方法について理解し、実践する能力を習得する。
	基礎技術実習	①　美容技術を美容技術を行う場合の位置、姿勢など必要な基本動作を身につける。
		②　施設の清掃･消毒等、美容所の衛生管理に必要な措置を確実に習得する。特に、器具の消毒についてはその重要性を認識し、適切な実施方法を習慣付くまで習得する。
	頭部、顔部及び頸部技術実習	①　スキャルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー、ヘアリンス技術、ヘアカッティング、パーマネントウェービング、ヘアセッティング、ヘアカラーリング等の基本的な頭部技術を確実に習得する。
		②　メイクアップ、まつ毛エクステンション等、その他基本的な顔部及び頸部技術を確実に習得する。
		③　この際、使用する器具は毎回必ず消毒することを身に付ける。
	特殊技術実習	エステティック･ネイル技術等美容の特殊技術を身に付ける。
	和装技術実習	日本髪の結髪技術、かつらのあわせ方、かぶせ方、着付技術を身に付ける。
	総合実習	頭部、顔部及び頸部技術、特殊技術を適当に組み合わせて調和のとれた美容技術を完成させるため、総合的な技術を身に付ける。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの実力テストを行う。

美容実習(実務実習)

【総合】

1

科目名	美容実習	必修課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	0/255	24/180	24/435
		2年次	24/180	0/485	24/465
使用する教科書		オリジナルテキスト			
副教材等		各メーカー製品マニュアル及びその製品			
担当者	主：阿部(正),相ノ山,佐藤(由),阿部(宏),佐々,國吉,川﨑,菊地、副：,高橋(定),高橋(利),吉田				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	ア、美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付ける とともにこれらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を習得する。 イ、美容所における衛生管理の重要性を認識し、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付ける。 ウ、個々の顧客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付ける。		
内容	①	接客の基本技術	礼儀・挨拶の基本
			誘導・案内の基本
			受付の基本
			お客様との受け答え
			カウンセリングの基本
	②	頭部技術の基本	ワイディング技術の基本
			カラーリング技術の基本
			シャンプー技術の基礎
	③	接客の応用技術	礼儀・挨拶の応用
			誘導・案内の応用
			お客様との臨機応対
			カウセリングの応用
	④	頭部技術の応用	ワイディング技術の基礎
			カラーリング技術の基礎
			期末考査
			ブローセットの基礎
	⑤	ロールプレイング	お客様の受付からお帰りまでの対応
			電話対応
			電話予約の受付
			始業時、終業時の作業について

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。
	ウ、ロールプレイングを通し、受講学生の基本的な理解ができていることを評価する。
	エ、美容所において施術ポイントを設け、個人別ポイント集計によるって評価する。

芸術（デッサン他）

【総合】

1

科目名	芸術	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		30	30
		2年次			
使用する教科書		ﾍｱｽﾀｲﾙ画によるﾄｰﾀﾙﾌｧｯｼｮﾝ　発行：日本理容美容教育ｾﾝﾀｰ			
副教材等					
担当者	佐藤知美(高等学校教諭一種免許(美術)),久道優子(宮城文化服装専門学校デザイン画講師)				

2 目標および内容

目標	① 優れた芸術作品に親しみ、鑑賞する能力を身に付けるとともに、生涯にわたって芸術を愛する心情を育む。 ② 国内及び世界の芸術の歴史を通じて芸術が個人や社会に及ぼす影響と、現代芸術の主な潮流についても学ぶ。		
内容	デッサン導入	イラストレーションのためのウォーミングアップⅠ	デッサン用具の取扱い及び用法・表現法
			紙コップなどのデッサンを通して描画に親しみ・慣れる
	〃	イラストレーションのためのウォーミングアップⅡ	教科書を用いた顔のプロポーション練習
			基本パーツ（目・鼻・口）髪などの部分練習と総合的な練習
	デッサン応用	デッサン作品制作	基本を踏まえて、人物デッサン作品を制作
			ヘアスタイル・メイクアップなどのデッサンを通して、美意識育成
			昼間テスト
	造形感覚の育成	小品制作	光や色彩を取り入れた立体作品の制作
		鑑賞による主観的・客観的評価	作品を展示することにより、学生相互の作品を鑑賞、完成度の確認
			美的センス、審美眼の育成
			期末テスト

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、デッサン小作品にて評価する。

メイク基礎

【総合】

1

科目名	メイク基礎	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	60		60
		2年次			
使用する教科書		美容技術理論Ⅱ			
副教材等		メイク教材一式			
担当者	主：阿部(宏),川﨑、副：佐藤(由),佐々,相ノ山,吉田				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	① メイクアップについての基本的事項は美容技術理論で学ぶこととし、その歴史・現状の他、より高度なメイクアップについて目的・種類・特徴、技術上の注意について学ぶ。 ② 美容実習で行うこととしている基礎的なメイクアップに対し、より高度なメイクアップについて、使用される主な薬剤や機器の使用方法や使用上の注意を身に付ける。		
内容	1	スキンケア～ベースメイクアップ	・メイク用品の使用目的と方法・消毒 ・スキンケア～ベースメイクアップの実習と目的、種類
	2	アイメイクアップ～アイブロウメイクアップ	・アイメイクアップ～アイブロウメイクアップの実習と目的、種類 ・つけ睫毛の使用目的と方法
	3	リップメイクアップ～ブラッシュオンメイクアップ	・リップメイクアップ～ブラッシュオンメイクアップの実習と目的
	4	顔の印象とシーンのメイクアップ	・陰影と印象 ・メイクアップデザイン
	5	まつ毛エクステンション	・施術事項の注意点と衛生（消毒） ・実習（モデルウィッグ）

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

色彩デザイン

【総合】　【ﾜｰｷﾝｸﾞ】

1

科目名	色彩デザイン	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	30		30
		2年次			
使用する教科書		美容技術理論Ⅰ(発行:日本理容美容教育ｾﾝﾀｰ)			
副教材等		AFT色彩検定3級テキスト(発行:AFT色彩検定協会)			
担当者		佐藤知美(高等学校教諭一種免許(美術))			

2 目標および内容

目標	① 色について、その分類と三属性と、これらを組合せる色彩調和を学ぶ。		
	② ①を基にファッションとのコーディネイトを学ぶ。		
	③ 光と色、色の心理的・視覚効果について学ぶ。		
	④ ヘアデザインへ生かすデザインの要素と原理を学ぶ。		
内容	色の表示	色の分類と三属性	色の分類、色の三属性、純色、清色、中間色、表色係
		PCCS	色相、明度、彩度、トーン、トーンのイメージ、色の表示方法
	色彩調和	配色の考え方	色相を手がかりにした配色
			トーンを手がかりにした配色
			アクセントカラー、セパレーション、グラデーションなど
	ファッション	ファッションと色彩	ファッションコーディネートにおける色彩
			色彩を主体としたコーディネート
			トーンを主体としたコーディネートなど
	光と色	色はなぜ見えるのか	光とは、光の性質と色
		混合	混色とは、加法混合、減法混合など
	色彩心理	色の心理的効果	膨張色と収縮色、軽い色、重い色など
			色相・明度・彩度による対比効果
		色の視覚効果	同化効果、面積効果など
	ヘアデザイン	美容とデザイン	錯覚現象を美容に生かそう
			デザインの要素、デザインの原理

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、出席重視。

美容総合

【総合】

1

科目名	美容総合	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		75	75
		2年次	105		105
使用する教科書		美容技術理論Ⅱ			
副教材等		美容実習Ⅱ			
担当者	主：佐藤(由),佐々,川﨑,小泉,國吉,菊地、副：阿部(宏),吉田,髙橋(利),高橋(定)				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	① 美容実習並びに美容技術理論で基礎的な事項を学び、その歴史・現状の他、より高度な各種美容技術について目的・種類・特徴、技術上の注意について学ぶ。 ② 美容実習で行うこととしている基礎的な施術に対し、より高度な施術について、使用される主な薬剤や機器の使用方法や使用上の注意を身に付ける。 危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。 ③ 前期に履修したテクニカルベーシックに引き続き、知識と技術を深化させる。		
内容	①	エステティック	エステティック概論
			フェイシャル技術（クレンジング・オイルマッサージ・パック）
			ボディケア技術(僧帽筋・肩甲骨周辺筋肉を対象に揉燃法)
	②	ネイル	ネイル技術概論
			ネイル技術と公衆衛生
			ネイルケア（爪の長さ形を整え余分なキューティクルを取り除き爪を健康に保つ）
	③	メイク	スキンケア・ベースメイクアップ
			アイメイク・アイブロウメイク・リップメイク
			まつ毛エクステンション
	④	日本髪	日本髪の由来
			日本髪の装飾品と結髪道具
			日本髪の結髪技術
	⑤	着付け	着付けの一般的要領
			留袖着付け技術
			振袖着付け技術

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。
	ウ、授業内容の理解度を確認するため、技術テストを行う。

テクニカルベーシック(エステティック･ネイル･着付け･アップスタイル)

【総合】

1

科目名	美容総合	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	60		60
		2年次			
使用する教科書		美容技術理論Ⅱ			
副教材等					
担当者	主：佐藤(由),佐々,川﨑(全員美容師免許,美容所勤務３年以上)				
	副：阿部(宏),吉田(全員美容師免許,美容所勤務３年以上)				
	副：小泉(日本エステティック協会認定講師,エステティックサロン勤務3年以上)				

2 目標および内容

目標	① 美容実習並びに美容技術理論で基礎的な事項を学び、その歴史・現状の他、より高度な各種美容技術について目的・種類・特徴、技術上の注意について学ぶ。 ② 美容実習で行うこととしている基礎的な施術に対し、より高度な施術について、使用される主な薬剤や機器の使用方法や使用上の注意を身に付ける。 危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。		
内容	①	エステティック	エステティック概論、皮膚の生理と構造、カウンセリング
			美容におけるマッサージ理論、フェイシャルケア技術
			フェイシャルパック
	②	ネイル技術	ネイル技術概論、ネイル技術の種類
			爪の構造と機能･カット形状、ネイル技術と公衆衛生
			カウンセリング･ネイルケア、アーティフィシャルネイル
	③	日本髪	日本髪の各部の名称、日本髪の種類と特徴
			日本髪と調和、日本髪の装飾品
			日本髪の結髪道具、日本髪の結髪技術
	④	着付けの理論と技術	着付けの目的･礼装、着付け各部の名称･たたみ方
			留袖･振袖着付け、男子羽織･袴、女子袴の着付け
			婚礼着付け、和装花嫁、洋装花嫁

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。
	ウ、授業内容の理解度を確認するため、技術テストを行う。

選択　エステテック

【総合】

1

科目名	選択エステティック	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		60	60
		2年次			
使用する教科書		美容実習２			
副教材等					
担当者	佐藤(由),阿部(宏),菅原(全員美容師免許,美容所勤務３年以上)				
	板橋(日本ｴｽﾃﾃｨｯｸ協会認定講師),小泉(同左)(両名ともｴｽﾃﾃｨｯｸｻﾛﾝ勤務3年以上)				

2 目標および内容

目標	①　エステテックについての基本的事項は美容技術理論で学ぶこととし、その歴史・現状の他、より高度なエステテックについて目的・種類・特徴、技術上の注意について学ぶ。 ②　美容実習で行うこととしている基礎的なエステテックに対し、より高度なエステテックについて、使用される主な薬剤や機器の使用方法や使用上の注意を身に付ける。		
内容	①	エステティックの備品類の準備	清潔なサロン作りに向けての清掃の仕方
			ベッドの準備セッティング
			ワゴンの準備セッティング
			衛生管理
	②	フェイシャル技術及びデコルテのマッサージ	ポイントメイク落とし
			フェイシャルクレンジング
			デコルテクレンジングからデコルテのマッサージ
			ふき取りの仕方
	③	背中のマッサージ	背中から首の軽擦
			背中から首全体の重手掌揉撚
			背筋から肩甲骨まわりの手掌揉撚
			全体をつなぐ、つなぎ手の習得
	④	フェイシャルパック	お客様の希望と肌の状況判断の区別の仕方
			パックの塗り方
			パックのはずし方
			お仕上げの仕方

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。
	ウ、相モデルとなりお互いに評価を行い技術の確認を行う。

選択・ネイル

【総合】

1

科目名	選択ネイル	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		60	60
		2年次			
使用する教科書		JNAﾃｸﾆｶﾙｼｽﾃﾑﾍﾞｰｼｯｸ　発行：NPO法人日本ﾈｲﾘｽﾄ協会			
副教材等		ネイル教材一式			
担当者	佐藤(由),阿部(宏)(全員美容師免許,美容所勤務３年以上)				
	横田(日本ネイリスト協会認定講師,自営出張ネイルサービス業3年以上)				

2 目標および内容

目標	①　ネイルについての基本的事項は美容技術理論で学ぶこととし、その歴史・現状の他、より高度なネイルについて目的・種類・特徴、技術上の注意について学ぶ。 ②　美容実習で行うこととしている基礎的なネイルに対し、より高度なネイルについて、使用される主な薬剤や機器の使用方法や使用上の注意を身に付ける。		
内容	1	JNEC3級検定対策	ネイル史 ネイル用品及び化粧品の使用目的
	2	〃	爪の各部の名称 衛生管理・消毒法 爪の異常
	3	〃	テーブルセッティング・ネイルケア カウンセリング・サロン環境・生理解剖学 フラットアート
	4	〃	タイムトライアル ３級試験対策
	5	〃	定期考査（中間・期末考査）

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。 イ、技術試験にて評価する

選択・カッティング

【総合】

1

科目名	選択カッティング	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		60	60
		2年次			
使用する教科書		オリジナルテキスト　技術理論1			
副教材等					
担当者	相ノ山,高橋(定),阿部(正),吉田,守末(紀),國吉,川﨑,菊地				
	全員美容師免許,美容所勤務3年以上				

2 目標および内容

目標	ア、カッティングについての基本的事項は、美容技術理論で学ぶこととし、より高度なカッティングについて目的、種類、特徴、技術上の注意について学びます。 イ、美容実習で行うこととしている基礎的なカッティング技術に対し、より高度な技術について学びます。		
内容	①	シザーズの使い方	シザーズの開閉
			コームとシザーズの使い方
			基本姿勢
	②	ワンレングス	カットのプロセス・ブロッキング
			展開図
			カット技法
			仕上げ
	③	グラデーション	カットのプロセス・ブロッキング
			展開図
			カット技法
			仕上げ
	④	レイヤー	カットのプロセス・ブロッキング
			展開図
			カット技法
			仕上げ
	⑤	ショート	カットのプロセス・ブロッキング
			展開図
			カット技法
			仕上げ

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、技術のテストを行う。

選択　アップスタイル

【総合】

1

科目名	選択アップスタイル	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		１年次		60	60
		２年次			
使用する教科書		美容技術理論Ⅰ			
副教材等		オリジナルテキスト			
担当者	佐々,高橋(定),阿部(正),阿部(宏),吉田,千葉,守末(紀),國吉,川﨑,菊地				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	ア、アップスタイルについての基本的事項は、美容技術理論で学ぶこととし、より高度なアップスタイルについて目的、種類、特徴、技術上の注意について学びます。 イ、常に新しい技術の吸収を怠らず、また、自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付け専門技術者としての心構えを身に付ける。		
内容	①	用具の使い方	ブラシ類の使い方 ピン類の使い方 三つ編み、各種編み込みの作り方 セット剤の使い方
	②	アイロンワーク	コテを使ったアップスタイル 巻き髪スタイル ウェーブスタイル
	③	ポニーテールスタイル	紐ゴムの使い方 すき毛の作り方 逆毛の立て方
	④	夜会巻き	シルエットのバランスのとり方 艶の出し方 毛先の処理
	⑤	フリースタイル	４０分で作品を作り授業内でコンテストを行う

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

メイク専攻

【総合】

1

科目名	メイク専攻	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		90	90
		2年次	90		90
使用する教科書		シュウウエムラメイクアップ技術検定マニュアル、技術理論Ⅱ			
副教材等		メイク教材一式			
担当者	阿部(宏),吉田,川﨑(全員美容師免許,美容所勤務３年以上)				
	森((一社)JMA-shu uemura認定講師)				

2 目標および内容

目標	美容実習、美容技術理論、メイク基礎等での学習を基礎として、衛生管理(消毒法)保健・カウンセリングなどの知識を統合するより高度で実践的な、メイクアップに関する正し技術を修得する。		
内容	1	スキンケア コンセプト	・スキンケアの必要性
			・スキンケアテクニックの役割
			・スキンケアテクニックの順序
			・スキンケアテクニックのポイント
	2	技術検定対策	・テーブルセッティング
			・スキンケア～フルメイク
			・技術スタンス
			・タイムトライアル
	3	フェイスカウンセリング	・顔の凹凸の理解（光と影）
			・レリーフトレーニング
			・メイクアップのバリエーション
	4	衛生及び保健	・消毒
			・目、及び、目の周辺について
			・まつ毛の毛周期
	5	道具の名称とカウンセリング	・道具の一例
			・カウンセリングの一例
			・アフターケア

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

まつ毛エクステンション専攻

【総合】

1

科目名	まつ毛エクステンション専攻	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		90	90
		2年次	90		90
使用する教科書		まつ毛エクステンション			
副教材等		まつ毛エクステンション教材一式			
担当者		佐々(美容師免許,美容所勤務3年以上),赤間(美容師免許,ABE Eyelash extensions Director)			

2 目標および内容

目標	① まつ毛エクステンションについての基本的事項は美容技術理論で学ぶこととし、より高度なまつ毛エクステンションについて目的・種類・特徴、技術上の注意について学ぶ。 ② 美容実習で行うこととしているまつ毛エクステンションに対し、より高度なまつ毛エクステンションについて、使用される主な薬剤や機器の使用方法や使用上の注意を身に付ける。		
内容	①	まつ毛エクステンションの用具	まつ毛エクステンションとは まつ毛エクステンション用具の説明及び使用目的
	②	衛生管理	病原微生物 消毒法の種類、手順 施術前の手指消毒 器具類の消毒方法
	③	保健	眼に関する知識 皮膚に関する知識 まつ毛に関する知識
	④	カウンセリング及び基本技術	カウンセリングの留意点 エクステンションの装着・トレーニング リムービング デザイン装着
	⑤	〃	定期考査（中間・期末考査）

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

ブライダル専攻

【総合】

1

科目名	専攻 ブライダル	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		90	90
		2年次	90		90
使用する教科書		美容技術理論Ⅱ			
副教材等		着付け教材一式			
担当者	佐藤(由),相ノ山,佐々,阿部(宏),吉田				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	美容実習、美容技術理論での学習を基礎として、より高度な、 ① 和装着付けの技術及び、歴史、調和、色彩など総合的な着物の知識を習得する。 ② 洋装花嫁のコーディネイトとドレスの知識を習得する。		
内容	1	着物各部の 名称と浴衣の着付け	・着物各部の名称 ・着物のたたみ方 ・着付けの一般的要領 ・浴衣の着付け
	2	着物と季節	・着物の仕立てと季節 ・礼服の心得
	3	着物のいろいろ	・礼装 ・準礼装 ・おしゃれ着 ・カジュアル・その他
	4	帯・小物	・帯と小物の種類 ・帯の柄 ・着物やＴＰＯに合わせた、結び方、形の整え方
	5	和装花嫁 洋装花嫁	・婚礼着付けの際の注意事項 ・和装花嫁の着付け ・ドレス・ベールの種類 ・ドレスフィティング

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

スタイリスト専攻

【総合】
令和３(2021)入学生以降

1

科目名	スタイリスト専攻	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		１年次		90	90
		２年次	90		90
使用する教科書		美容実習Ⅰ・美容技術理論Ⅰ			
副教材等		タカラベルモントシャンプーマニュアル			
担当者	佐藤(由),相ノ山,佐々,高橋(定)阿部(正),阿部(宏),吉田,千葉,守末(紀),國吉,川﨑,菊地				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	美容実習、美容技術理論での学習を基礎として、より高度で実践的な、		
	①　ブロー技術・スタイリング技術を学ぶ。		
	②　カット・カラー・パーマネント技術の正しい知識を修得する。		
	③　サイドシャンプー・バックシャンプーによる技術を修得する。		
内容	1	シャンプーイング	・シャンプーの必要性
			・リンスの必要性
			・バックシャンプー技術
			・サイドシャンプー技術
	2	ヘアカッティング	・ワンレングスカット
			・グラデーションカット
			・レイヤーカット
	3	パーマネントウェーブ	・ブロッキング
			・ワインディング
			・ワインディングのバリエーション
	4	ｊｈｇｇ	
			・酸性染毛剤
			・塗布技術のいろいろ
	5	ヘアセッティング	・ブロースタイリング
			・アイロンスタイリング
			・アップスタイリング

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

美容実習

必修科目 【ﾜｰｷﾝｸﾞｺｰｽ】

1

科目名	美容実習	必修課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	264	208	472
		2年次	198	230	428
使用する教科書		オリジナルテキスト			
副教材等		各メーカー製品マニュアル及びその製品			
担当者	主：阿部(宏),菊地,國吉,高橋(定)、副：佐藤(由),佐々,吉田,髙橋(利),相ノ山,阿部(正),川﨑				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	ア、美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けるとともにこれらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を習得する。	
	イ、美容所における衛生管理の重要性を認識し、器具の消毒等の適切な実施方法を身に付ける。	
	ウ、個々の顧客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付ける。	
内容	器具の取り扱い実習	① 美容器具の操作方法、消毒方法、手入れ方法を確実に習得する。
		② 用途に適した美容器具の選択方法について理解し、実践する能力を習得する。
	基礎技術実習	① 美容技術を行う場合の位置、姿勢など必要な基本動作を身につける。
		② 施設の清掃･消毒等、美容所の衛生管理に必要な措置を確実に習得する。特に、器具の消毒については重要性を認識し、適切な実施方法を習慣付くまで習得する。
	頭部、顔部及び頸部技術実習	① スキャルプトリートメント、ヘアトリートメント、ヘアシャンプー、ヘアリンス技術、ヘアカッティング、パーマネントウェービング、ヘアセッティング、ヘアカラーリング等の基本的な頭部技術を確実に習得する。
		② メイクアップ、まつ毛エクステンション等、その他基本的な顔部及び頸部技術を確実に習得する。
		③ この際、使用する器具は毎回必ず消毒することを身に付ける。
	特殊技術実習	エステティック･ネイル技術等美容の特殊技術を身に付ける。
	和装技術実習	日本髪の結髪技術、かつらのあわせ方、かぶせ方、着付技術を身に付ける。
	総合実習	頭部、顔部及び頸部技術、特殊技術を適当に組み合わせて調和のとれた美容技術を完成させるため、総合的な技術を身に付ける。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの実力テストを行う。

美容実習（実務実習）

必修科目 【ﾜｰｷﾝｸﾞｺｰｽ】

1

科目名	美容実習	必修課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	0/264	24/208	24/472
		2年次	24/198	230	24/428
使用する教科書		オリジナルテキスト			
副教材等		各メーカー製品マニュアル及びその製品			
担当者	主：阿部(正),相ノ山,國吉,高橋(定),佐々、副：佐藤(由),阿部(宏),吉田,高橋(利),川﨑,菊地				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	ア、美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付ける とともにこれらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を習得する。 イ、美容所における衛生管理の重要性を認識し、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付ける。 ウ、個々の顧客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付ける。		
内容	①	接客の基本技術	礼儀・挨拶の基本
			誘導・案内の基本
			受付の基本
			お客様との受け答え
			カウンセリングの基本
	②	頭部技術の基本	ワイディング技術の基本
			カラーリング技術の基本
			シャンプー技術の基礎
	③	接客の応用技術	礼儀・挨拶の応用
			誘導・案内の応用
			お客様との臨機応対
			カウセリングの応用
	④	頭部技術の応用	ワイディング技術の基礎
			カラーリング技術の基礎
			期末考査
			ブローセットの基礎
	⑤	ロールプレイング	お客様の受付からお帰りまでの対応
			電話対応
			電話予約の受付
			始業時、終業時の作業について

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。
	ウ、ロールプレイングを通し、受講学生の基本的な理解ができていることを評価する。
	エ、美容所において施術ポイントを設け、個人別ポイント集計によるって評価する。

美容基礎技術

【ﾜｰｷﾝｸﾞｺｰｽ】

1

科目名	美容基礎技術	必修課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	150		150
		2年次			
使用する教科書		美容技術理論Ⅰ			
副教材等		美容実習Ⅰ			
担当者	主：高橋(定),佐々,國吉,菊地、副：佐藤(由),阿部(宏),吉田,髙橋(利),相ノ山,阿部(正),川﨑				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	① 美容実習並びに美容技術理論で基礎的な事項を学び、その歴史・現状の他、より高度な各種美容技術について目的・種類・特徴、技術上の注意について学ぶ。 ② 美容実習で学ぶ基礎的な施術を、より実践的に施術できるように、使用される主な薬剤や機器の使用方法や使用上の注意を身に付ける。 危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。		
内容	①	エステティック	エステティック概論
			フェイシャル技術（クレンジング・オイルマッサージ・パック）
			ボディケア技術(僧帽筋・肩甲骨周辺筋肉を対象に揉燃法)
	②	ネイル	ネイル技術概論
			ネイル技術と公衆衛生
			ネイルケア（爪の長さ形を整え余分なキューティクルを取り除き爪を健康に保つ）
	③	メイク	スキンケア・ベースメイクアップ
			アイメイク・アイブロウメイク・リップメイク
			まつ毛エクステンション
	④	日本髪	日本髪の由来
			日本髪の装飾品と結髪道具
			日本髪の結髪技術
	⑤	着付け	着付けの一般的要領
			留袖着付け技術
			振袖着付け技術

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。
	ウ、授業内容の理解度を確認するため、技術テストを行う。

美容総合技術

【ﾜｰｷﾝｸﾞｺｰｽ】

1

科目名	美容総合技術	選択課目			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次	111	135	246
		2年次	174	0	174
使用する教科書		美容技術理論Ⅱ			
副教材等		美容実習Ⅱ			
担当者	主：高橋(定),佐々,菊地,國吉、副：佐藤(由),阿部(宏),吉田,髙橋(利),相ノ山,阿部(正),川﨑				
	全員美容師免許,美容所勤務３年以上				

2 目標および内容

目標	① 美容実習並びに美容技術理論で基礎的な事項を学び、その歴史・現状の他、より高度な各種美容技術について目的・種類・特徴、技術上の注意について学ぶ。 ② 美容実習で行うこととしている基礎的な施術に対し、より高度な施術について、使用される主な薬剤や機器の使用方法や使用上の注意を身に付ける。 危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。		
内容	①	エステティック	エステティック概論
			フェイシャル技術（クレンジング・オイルマッサージ・パック）
			ボディケア技術(僧帽筋・肩甲骨周辺筋肉を対象に揉燃法)
	②	ネイル	ネイル技術概論
			ネイル技術と公衆衛生
			ネイルケア（爪の長さ形を整え余分なキューティクルを取り除き爪を健康に保つ）
	③	メイク	スキンケア・ベースメイクアップ
			アイメイク・アイブロウメイク・リップメイク
			まつ毛エクステンション
	④	日本髪	日本髪の由来
			日本髪の装飾品と結髪道具
			日本髪の結髪技術
	⑤	着付け	着付けの一般的要領
			留袖着付け技術
			振袖着付け技術

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。
	ウ、授業内容の理解度を確認するため、技術テストを行う。